

交流会の記録

2013年9月14日(土)、浜離宮朝日ホールにて第9回「住まいとコミュニティづくり NPO 交流会」を開催しました。
この交流会では、午前中に非公開で今年度助成中の団体による現況報告を行い、午後は、2012年度の助成対象団体による活動報告を行いました。

プログラム

10:30～
12:00

今年度助成中の
団体による現況報告
＜非公開＞

報告者
松本友哉さん



飛島ロマン
〔山形県酒田市〕

活動のテーマ：飛島拠点
プロジェクト 02 ～飛島に
文化の拠点をつくる～

報告者
中村隆さん



NPO 法人
醸造の町撰田屋
町おこしの会
〔新潟県長岡市〕

活動のテーマ：豪商の館
「機那サフラン酒本舗」の
保全の為に地域活性化活動

報告者
春日俊雄さん



荻ノ島地域協議会
〔新潟県柏崎市〕

活動のテーマ：学生と地域の
協働による茅葺きの空き家の
再生・再活用

報告者
中村高田さん



NPO 法人
高田馨女の文化を
保存・発信する会
〔新潟県上越市〕

活動のテーマ：日本一の雁木の
街で、高田馨女の生き方に学ぶ

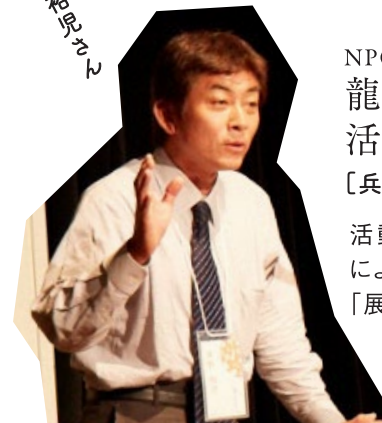
報告者
中村高田さん



NPO 法人
WACおばま
〔福井県小浜市〕

活動のテーマ：伝統地場産業
「アブラギリ」の復活を通じた
地域コミュニティの場づくり

報告者
岸野祐典さん



NPO 法人
龍野町家再生
活用プロジェクト
〔兵庫県たつの市〕

活動のテーマ：地元高校生
による醤油蔵の再生活用
「展示ギャラリー化」

報告者
藤田悠さん



チーム PRE ドクターズ
〔奈良県橿原市〕

活動のテーマ：地域復興救急科
～医学生がつくる地域コミュニティ
拠点～

13:00～
18:00

2012 年度助成対象
団体による活動報告

報告者
中村高田さん



NPO 法人
トチギ環境未来基地
〔栃木県宇都宮市〕

活動のテーマ：宇都宮市平石
地区の魅力と地域のきずなを結
ぶ、10,000 歩散策コースづくり

報告者
相原慶子さん



ラララMaMa
〔東京都練馬区〕

活動のテーマ：
農園からつながる“わ”

報告者
島田浩二さん



まちづくりネットワーク
フジスタイル
〔静岡県富士市〕

活動のテーマ：地域で作る!!
コミュニティの拠点・みんなの笑顔

報告者
石川美穂さん
河野美穂さん

NPO 法人
環人ネット
(かみおかベ古民家活用計画)
〔滋賀県彦根市〕

活動のテーマ：古民家再生 ×
学生シェアハウス＝集落ステイ



Q 滋賀県立大学学生（特に女子学生）の実行力に驚きました。古民家改修の職人仕事である壁塗りやトイレの改修を自分たちでやっているのですが、本職からのサポートはあるのでしょうか？
また、活動に関して、大学からの支援や認定(単位)はありますか？
若い世代が古民家や畑づくりに積極的に関わっている様子は心強いものです。

A ○古民家改修の指導について
改修作業は環人ネットの会員で工務店に従事する者や大学の卒業生、また学生の中でも改修経験や木工作業経験のある者に師事を仰いでいます。古民家改修を行う活動は大学内に3つほどあるので、お互いにノウハウの共有を行っています。

○大学からの活動支援について
滋賀県立大学には「近江楽座」という所定の審査を経て採択されたプロジェクトに対して、調査、研究、活動等経費を助成する学生支援プログラムがあります。近江楽座のテーマは「学生主体による地域活性化活動」ですが、そのアプローチはものづくりや食、農、アートなどさまざまです。プロジェクト同士の交流や学内外への情報発信の場としても機能しています。かみおかべでのプロジェクトをスタートするに当たり、HC 財団と同時に近江楽座にもプロジェクト申請を行い、2011 年度の新規プロジェクトとして採択されました。2012 年度も継続プロジェクトとして申請、採択されております。近江楽座 HP <http://ohmirakuza.net/>

○単位認定について
本プロジェクトの参加による単位認定はありません。また、近江楽座の活動自体は学生の主体性によるもので単位認定制度はございませんが、「近江学士」という学部生向けの講義の受講生が近江楽座プロジェクトにインターンシップとして参加することで単位を授与する制度が昨年度よりはじまりました。インターンシップをきっかけにプロジェクトのメンバーとして定着する学生も多いです。

NPO 法人
アートクルー堀川
〔兵庫県高砂市〕

活動のテーマ：高砂町の町並み保存、空き家活用プロジェクト

Q 空き家や空き店舗に芸術家を誘致し、町の活性化を行う考えは素敵で、実際のプロジェクトの事例の建物もオシャレで、ぜひ訪れたいと思いました。しかし、そうしたアート職人による建物や店舗が芸術的過ぎるがために、古い街並みや昔からの店舗とそぐわなくなってしまうのではないかと感じました。

A 歴史のある町並みを残すことも、私たちがまちづくりをする上ではとても大切な行動だと考えています。新しく誘致して動き出している店舗がすべて芸術的な店舗ではなく、古民家の面影を残し、内部だけ改装した店舗がほとんどです。町には見かけられないような店舗に改修する際には、ATP(商工会議所、自治会など)での会議や打ち合わせを何回も重ねて、許可を得て決定しています。町の全ての皆さんが賛成される意見を踏まえて改修するまでにはいきませんが、活動をしていく中で、直に町の方の声を聞きながら、少しずつ反省と前進を繰り返しているところです。町との協調と共存。人と人との新しい未来と歴史の保存。やること全てがうまくいくとは決して言えませんが、一步一步、活動をすることで広がり理解をしあえることもたくさんあることを身に沁みて感じています。まだまだ私たちは未来へ前進しているところですので、日々町の皆さんにご教示頂きながら、色んな方向性を模索している次第です。



報告者
折井匠さん



報告者
高砂町
みつぎさいこう

みつぎさいこう
実行委員会
〔広島県尾道市〕

活動のテーマ：古い医院を活用した新しい交流と創造の場づくり



報告者
尾道市
ほしはら山のがっこう

NPO 法人
ほしはら山のがっこう
〔広島県三次市〕

活動のテーマ：十郎ゲストハウスづくりを通じた田舎シェア文化創造



報告者
柳井縞
NOREN

柳井縞 NOREN
プロジェクト実行委員会
〔山口県柳井市〕

活動のテーマ：柳井縞の暖簾を織って、白壁の町並みに掛け、みんなであつなろう



報告者
西土佐連合青年団

西土佐連合青年団
〔高知県四万十市～宮城県仙台市〕

活動のテーマ：プロジェクト ship for ship



報告者
伊西大吾
まち遺産ネット仙台

まち遺産ネット仙台
〔宮城県仙台市〕

活動のテーマ：仙台住宅遺産ものがたりー震災をのりこえた住宅遺産の調査と発信



報告者
山形県新規就農者ネットワーク

山形県新規就農者
ネットワーク
〔宮城県東松島市〕

活動のテーマ：被災者参加によるグリーン・コミュニティー創出事業

実験
プロジェクト
関連報告



報告者
宇陀市
宇陀松山華小路

宇陀松山華小路
実行委員会
〔奈良県宇陀市〕

実験プロジェクト（事務局が研究対象団体を選定し、団体と共同で研究・検討を行うプロジェクト）について
2012年度は、「柳井縞 NOREN プロジェクト実行委員会」を対象としました。当団体は、多くの人の参加を得て地域の伝統的工芸品である柳井縞の暖簾をつくり、それらでまち並みを飾り来訪者に地域資源に着目させました。なお、今回のプロジェクトを進めるにあたり、先進事例である「宇陀松山華小路実行委員会（2010年度助成対象）」にもプロジェクトへの参加をお願いしました。

震災
復興関連
特別報告



報告者
復興
復興報告

TOHOKU
ALL FOR
ONE PROJECT
〔宮城県東松島市〕



報告者
小畑
朝日座を

朝日座を
楽しむ会
〔福島県南相馬市〕

選考委員による講評



選考委員長による総評

日本では地域活動が満載となり、疲労感や同質性が進んでいて、少し冷静に考え直すときに来ていると感じます。

これまで地域づくり、まちづくりは成功事例をコピーすることが多く、新鮮味がなくなってきましたが、本日、昨年度と今年度の助成対象の活動報告を聞いて、これまでの類型にあてはまらない新しいものが出てきていると感じました。

古いもの（建物）だから残すというのではなく、若者が古民家の魅力にとりつかれ、自らの手で修復し、地域に暮らす誇りを持って文化を育んでいます。

例えば、今年度助成中の医大生（チーム PRE

ドクターズ）の活動からは、すぐに必要な活動を行うので、最初に助成金を 100% 支給して欲しいという要望がありました。従来の助成金をもらってから年間計画通りに古民家をなおすというスタイルではなく、計画以上の活動をし、一年だけでなくその先も見据えている率直な活動は評価したいと思います。

本日報告していただいた皆さんに共通しているのは、苦しみよりも喜びや楽しみがあるから、長年にわたり協力しあえるということでしょうか。

各地の地域活動のお手伝いをさせていただく際に私が気をつけていることは、長く地域

の人に愛される活動であるかということです。予算がないなかでアイデアを出し合い、適正規模での活動であり、無理なく続けていくことから地域文化として定着してほしいと願っています。

地域活動の整理をしなくてはならない時期に来ています。

日本をよくしていく、地域をよくしていく活動を、歴史という大きな流れ、積み重ねの中で考える時期が来ています。その流れに対処できる助成金でありたいと思います。

一年でやれることは限られていますが、確固たる未来へのビジョンを持った動きが起こってきていることを本日実感しました。

活動者自身が助け合い、ともに組んでいくことによっていいものができる新しい時代予感があります。ただ動く、活動するだけではなくて、一度立ち止まってよその動きもじっくりと見て、その結果、ネットワークを組んで一緒に活動を行うなど、冷静さを持って自らそして周りを見ることが重要だと感じます。

また、活動報告書を今年度から発行しないと聞きました。助成対象活動者を褒めて後世に残す活動記録は文化であるので、報告書の発行について検討してもらえればと思います。

鈴木輝隆

